

2025年3月24日(月)

北海道エアポート株式会社

第二期中期事業計画及び2025年度事業計画について

北海道エアポート株式会社(本社：北海道千歳市)は、2025年度から2029年度までの5カ年における第二期中期事業計画及び2025年度事業計画を策定しました。

当社は、2023年に空港運営を通じて北海道の未来を創造し、地域に貢献する企業を目指して、2030年を目標とした「HAP2030ビジョン」を発表しており、第二期中期事業計画において、本ビジョンも踏まえた上で、重点テーマ等を定めました。

第二期中期事業計画の初年度となる2025年度事業計画については、安全安心に係る取組の更なる強化を図るとともに、旅客需要の応需に向けた体制整備や成長投資等を実施し、骨太な経営基盤の確立を目指す内容といたしました。

当社は、第二期中期事業計画及び2025年度事業計画を着実に実行することで、企業価値の向上に邁進してまいります。

概要

■ 第二期中期事業計画(2025年度～2029年度)における7つの重点テーマ

- ① 安全安心・空港満足度向上
- ② 旅客数目標達成・応需体制強化
- ③ 収益力向上・コスト構造改善
- ④ 観光の高付加価値化・新たな来道需要創出
- ⑤ GX・DXに関する取組(サステナビリティ・SDGs)
- ⑥ HAP2030ビジョンを契機としたエンゲージメント向上
- ⑦ 産業集積等を契機とした機能強化

KPI=第二期中期事業計画終了時点(2029年度)

旅客数合計	国内旅客数	国際旅客数	EBITDA	総投資額
3,423万人	2,730万人	693万人	416億円	1,189億円

■ 2025年度事業計画 取組方針

- ・安全安心を最優先とする空港運営に向けた組織運営・人材育成を進めるとともに、持続的かつ効率的な7空港一体運営を実現すべくGX・DX等への取り組みを推進し、北方圏における空港運営のリーディングカンパニーを目指します。
- ・航空ネットワークの更なる拡大に向けた応需体制の強化(グランドハンドリング・航空燃料等)を図るとともに、観光の高付加価値化や二次交通への対応についても関係者と連携し取り組み、地域経済の活性化に寄与します。
- ・将来の航空需要を見据えた受入能力向上等の成長投資や安全安心に係る更新投資を着実に実施し、利用者利便の更なる向上を目指します。

※第二期中期事業計画及び2025年度事業計画の詳細資料

<https://www.hokkaido-airports.co.jp/company/vision.php>

<本件に関するお問い合わせ>

北海道エアポート(株) 総務・人事部 広報課 0123-46-2990 (代表)